

コトバカっ!



コトバカ
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカルっ!

アタシをほめてー!

春はお洒落をしたくなる季節。口紅やフェイスカラーも明るい感じに変えたくなり、プロにメイクしてもらいたいなあと思ったりする。というわけで、久々にぼつちりメイクして、某化粧品ブランドのカウンターへ行った。メイクしてもらうためにメイクするなんて、よく考ええると本末転倒。どうせ落とすのに……いや、でもこれが女コ口というものなのだ。

その日の美容部員さんは西野カナ似だったのでカナちゃんと呼ばせていた。だが、カナちゃんは、私のメイクを落とす前に「リップ、きれいに描けてますねー」と言ってくれた。え、そう? さらに「目もとのグラデーションもいい感じ」「マスカラも上手ですよ」と。やった! だけどさっきからカナちゃん、私のテクニクばかりほめてる? ま、いいか。

春の新品でフルメイクしてもらおうと気分が上ががる。あとはカナちゃんに背中をひと押ししてもらえば、私はいくつかのアイテムを買ってしまうだろう。メイクが終わると、カナちゃんは自信たっぷりにご言った。「ね、この輝き、スゴいでしょ?」おお、今度は製品の威力をほめるか。

記念に写真を撮ってくれるという。化粧品のカウンターで写真というところを言われるのがオチなので緊張したが、携帯にダウンロードできる小さな写真らしい。カナちゃんは「お客様、キレイですよ」と初めて私をほめてくれたが、画面を見て驚く。っていうかこれ、だれ? 目と口の位置はかろうじてわかるけど白く飛んでいる。何色でメイクしたか不明なハレーション状態。しかし私は理解した。これは新しいサービスなのだ。解像度を高くして現実を直視させるのではなく、現実を忘れさせる方向への。

結局、今回は新品の購入を見合わせた。とりあえず手持ちの化粧品でいいや。何といっても私は、プロにほめられるほどのテクと、アンドロイドのような肌の持ち主なのだから。

カナちゃんのおかげで元気が出た。しかも買わずにすんだ!

相川藍(言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。